				<del>173</del>	計	1Ш	可	音			
Ι:	事業概要										
事	業名	道路事業(道路改良事業)									
地	区名										
事	業箇所 愛知県豊田市花本町~越戸町										
		一般県道西中山越戸停車場線は、豊田市西中山町から越戸町に至る延長約5.5kmの路線であり、									
		国道 4	国道 419 号などの主要な幹線道路に接続するとともに、地域交流を促進させる重要な路線である。 当該事業区間の現道は通学路として指定されているとともに、名鉄越戸駅への主要なアクセス								
		当該	事業区間の	の現道は通学	路として指	定され	ている。	とともに、	名鉄越戸駅	への主要なアクセ	
事	業のあ	道路となっているが、歩道が整備されておらず、道路幅員が狭小で自動車のすれ違いも困難であ									
Ë	まし	り、歩行者の安全性や円滑な交通が確保できない状況にある。									
		このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的と									
		して、整備中である一般国道 153 号豊田北バイパス、越戸駅へのアクセス性の向上、歩行者の安									
		全性を	·確保するだ	ため、一般県	道西中山起	<b>过</b> 戸停車	場線の	バイパス整	経備を実施す	るものである。	
			(主要)								
				え地域を活性	ŧ化する基類	盤整備					
事	業目標		通安全対策	の強化							
		【副次 	目標】								
				事前評価	告 (H24)	市	評価時	(H28)	亦	動要因の分析	
		車型	<u></u> 業期間	#####################################		13	H24~		<u> </u>	.划文凸07万小	
		事業費(億円)		23			23.				
		経費	工事費	4.			4. 3				
<u></u> ‡+i	·画変更		用補費	17.			17.				
	山へへ )推移	内訳	その他	1.			17 1. <sup>-</sup>				
			(0)16	バイパ			<u>'.</u> バイパフ				
		事業内容		延長		,	延長1				
				幅員 18.0		幅		~20. 0m			
				2 車		тш	2車				
π	 評価			£ <del>,</del>	-4%			197			
_		5 性 「	事 前 評 価 明	キの出記し							
	1) 必要性 【事前評価時の状況】 の変化 ・本路線の並行路線である国道 419 号は、H22 センサスにおいて交通量が 18,001 台/日、混雑										
度が 1.32 と慢性的に渋滞している。							10,001 11, 110				
・現在整備中である国道 153 号豊田北バイパスの供用により、交通需要の増加が ことから、本路線の整備が必要である。						の増加が見込まれ					
						, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
			・周辺には小中学校が立地しており、現道は通学路に指定されているものの、歩道が整備さ								
1		れておらず、道路幅員が狭小で自動車のすれ違いも困難であり、歩行者の安全性や円滑な交通									
事			の確保がで	できていないも	犬況にある。						
の			再評価時6	の状況】							
必要		1	人の交流	を支え地域を	活性化する	る基盤整	¥備				
性		・当該事業区間に近接する花本工業団地では拡張計画が進行しており、周辺路線の交通量は									
①事業の必要性の変化		増加する見込みであり、本路線の整備の必要性は高まっている。									
化		•	平成 25 年	度には、主要	渋滞箇所。	として、	周辺の	国道 153 昇	号や国道 419	号などが指定され	
				然として渋滞	が発生して	いる。					
		_		対策の強化							
					通学路は変	わらず、	,歩行者	の安全性	や円滑な交通	<b>通が確保できない状</b>	
に変化はない。   ・越戸駅乗降客数は平成22年から平成26年にかけて約9%増加しており、駅					l ED						
		- j	越尸駅乗隊	幹各数は平成	22 年から-	⊬灰 26 <sup>2</sup>	‡にかけ	ナて約9%は	増加しており	リ、駅へのアクセス	

向上の必要性が増加している。

		【変動要因の分析】													
		・周辺の工業団地の拡張などにより、交通量は更に増加が見込まれる。													
		* 越尸駅	・越戸駅乗降客数は増加傾向にあり、歩道整備の必要性は高まっている。												
		A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。													
		Α		B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。											
	判定	【理由】	0. 事本/	自丁啊	ICTD.	·w· <del>·</del>	工// 1		150 I. C	, ( 0	<b>യ</b> ം				
			問に近接するで	−業団+	地の抗	:2馬 <i>ナ</i> こ人	<i>:</i> 1-	। ব	を通量	<del>l</del> 鱼加	が目に	<b>=</b> h.	スレレ	±.1-	越古
		・事業区間に近接する工業団地の拡張などにより、交通量増加が見込まれるとともに、 駅利用者も増加傾向にあり、歩行者の安全確保の必要性も高まっているため。							K <u></u> 7						
	1) 進捗状		駅利用有も増加傾向にあり、多行有の女主催床の必要性も高まっているだめ。 【事業計画及び実績】												
	況														
				H24	H25	H26	H2 /	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
			査・設計												
			月地補償	<b>←</b>									$\longrightarrow$		
			_事						lack						$\rightarrow$
		事業費	計画		8	.4				13.0				8.4	
								10					0.1		
		(億円)	実績	1.6											
		【進捗率】	]												
				これまでの計画に対する			る達成状況			全体進捗状況					
				計画		実績		達用	<b>戊率</b> (%	j)	計画		進捗率(%)		
							[2]		[2÷1]		[3]		[2÷3]		
		延	長(km)	0.0		0.0		_		_	1.0		0.0%		
②事業の進捗状況及び見込み		事業費(億円)		8.4			1.6		19.0%		23.0		7.0%		
		工事	費	2.9		0.0				%	4.3		0.0%		
の		用補	費		5.5		1.0		18.2	%	17.6		5.7%		
捗		その	他		0.0		0.6		-	_		1.1	5	4.5%	
╽沢		※用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は約63%(豊田北バイパス以南)													
及び	2) 未着手	· 完了予?	定年度に変更な	にし											
見	又は長														
込 期化の															
	理由 3) 今後の	<b>I</b> N ====	 ⊞1												
	事業進	【阻害要[ • 协元白]	凶』 治体より早期整	を借が3	草望さ	わてま	: LJ -	ナき <i>†</i> ;	阳宝	要因に	たい				
	サポル	「今後の」		E IM 73 '3	Z <del>E</del> C	10 ( 0.	,,,,	\C '0		ΧМΙ	K, C. O.	0			
	込み		年度までに整備	備が完	了する	5予定	である	0							
									完成	が見込	まれ	る。			
			A: 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか(該当する項目に「〇印」を付ける)												
			• これま <sup>.</sup>	で事業	は順割	間であ	る。今	後は	多少の	阻害	要因か	「見込	まれる	ものの	D. —
			定の期	間等を	要す∤	෭ば、1	解決で	きる	見通し	があ	り、ほ	ぼ計	画通り	の完成	戈が見
		_	込まれ												
	判定	Α	・これま									たこ	とによ	り、4	う後は
			阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後								<b>Δ</b> !	+ <i>4</i> / I.			
			が見込	-				•							
			計画通					と女	7 1 616	、	<b>ДС</b>	で元	通しが、	ひりり、	1010
			C: 阻害要					寺点で	は、	事業進	捗の	目処か	ヾナニナニナ	ない。	
			• • • • • • • •	٧٧/	1.07/10		· ~~	3 MM C		,- ~.e	-17 47	_ ~_ /3	,_,_,	J- J 0	

#### 【理由】

・事業は順調であり、予定通り平成35年度までに整備完了が見込まれるため。

> 果)の変 化

【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】

【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】

	区分		事前評価時 (基準年: H24)	再評価時 (基準年: H28)	備考
	事	業費	17. 8	_	
費用(億円)	維持	管理費	0. 4		
(18日)	合計	(C)	18. 2	-	
	走行時間	引短縮便益	55. 5		
	走行経費	<b>貴減少便益</b>	4. 2	1	
効果	交通事故	<b>坟減少</b> 便益	0. 1	1	
(億円)	合計	(B)	59. 7	_	
	(参考) 算定要因	計画交通量 (台/日)	9, 100	9, 100	±0%
費用対	効果分析結果	(B/C)	3. 3	_	

※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したもの。

【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】

費用便益分析マニュアル(平成 20 年 11 月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) 【変動要因の分析】

・前回評価時と比べ、費用対効果分析の要因(事業費等)が3割を超えて変化していないため、費用対効果分析を実施しない。

# 2) 貨幣価 値化効 乗の変化

③事業の効果の変化

#### 【事前評価時の状況】

- ・周辺道路も含めた混雑緩和により、近隣の工業団地等、産業の活性化を支援する。
- ・通過交通が現道からバイパスに転換することにより、現道の沿線環境が向上する。

## 【再評価時の状況】

- ・歩行者の安全性向上、主要渋滞箇所の渋滞緩和が図られる。
- ・「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」に基づき評価した評価値は 0.83 である。

達成目標(建設部方針)			貨幣価値化困難な効果 評価基準表							
		評価 対象 の判断	評価項目	基礎点	得点					
	③交通安全対策の強化		□ b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3						
1		0	通学路の安全性向上に資する事業、交通パリアフリー法における特定道路または重点整備地区 ■ における事業、生活道路の交通安全対策エリアにおける事業、または自転車ネットワーク計画に 位置付けられた事業に該当する	3	3					
防 御 力			□ 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通 安全対策事業に該当する	2	5					
,,			□ その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1	1					
			合計	3	3					
	⑦人の交流を支え地域を活 性化する基盤整備		□ a) 主要な渋滞箇所の渋滞の緩和が期待できる	MAX3						
3	11.10 / See 11.12 mm			□ 洗滞対策プログラムに位置付けられた事業、または「緊急に対策の検討が必要な踏切」に係る事 業に該当する	3					
成長		0	環状道路の整備又は公共交通機関の利用促進(交通結節点・バス路線の渋滞緩和等)に資する 事業に該当する	2	2					
力			□ 渋滞損失時間の県内上位区間(県平均値以上)の区間における渋滞緩和に資する事業に該当する る		I					
			슴計	3	2					
総合計										
評価値										

※道路・街路事業の事業評価マニュアル (平成 28 年 7 月 愛知県建設部都市整備課・道路維持課・道路建設課) 【変動要因の分析】

・評価基準表により貨幣価値化困難な効果について検証した結果、評価値については 0.6 を 超えている。

判定	A	A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。 B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。 C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。
	【理由】	

・B/Cは1.0を超えており、貨幣価値化困難な効果の評価値についても0.6を超えているため、事業効果の発現が期待できる.

# Ⅲ 対応方針(案)

継続

中止:上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。

継続:上記以外のもの。

## Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後5年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

\_

### 【主な評価内容】

交通量 (全車、大型車)、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況

## V 事業評価監視委員会の意見

一般県道西中山越戸停車場線の対応方針(案)[事業継続]を了承する。

## VI 対応方針

## 事業継続